



## 除草剤

# クリンチャーバス™ ME 液剤

## 水稲用除草剤

農林水産省登録  
第19200号

(Clincherbas™ ME LQ)



種類名／シハロホップブチル・ベンタゾン液剤

有効成分の種類及び含有量／シハロホップブチル(PRTR1種)……3.0%  
ベンタゾン……………20.0%

その他の成分の種類及び含有量／有機溶剤、界面活性剤、水等…77.0%  
(内メチルナフタレン(PRTR1種)1%)

物理的・化学的性状／黄赤色澄明水溶性液体

毒劇法／該当なし

消防法／該当なし

有効年限／5年

包装／500ml×20本 ダンボール箱  
5ℓ×4本 ダンボール箱

TM：デュポン、ダウ・アグロサイエンスもしくはパイオニアならびにこれらの関連会社または各所有者の商標

## 特長

- シハロホップブチルは、ノビエの茎葉部から速やかに吸収され作用点に移行、ベンタゾンは、広葉雑草の茎葉部・根部から吸収され作用点に達し、それぞれ効果を発揮します。
- 茎葉散布で、発芽後から5葉期までのノビエを枯殺します。また生育の進んだ広葉雑草や多年生雑草に対しても、高い効果を示します。
- 主要な多年生雑草であるウリカワ、ホタルイ、ミズガヤツリ、クログワイ、ヘラオモダカなどに対し、高い効果を示します。
- 前処理剤が取りこぼした雑草や、後発生の雑草防除に使えるほか、スルホニルウレアに抵抗性を示した雑草の防除にも効果的です。
- イネと雑草間の代謝速度の違いにより、イネに高い安全性を示します。
- 直播水稲や、飼料米にも使用できます。

## 適用雑草及び使用方法

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り使用量		本剤及び シハロホップブチル、 ベンタゾンを含む 農薬の 総使用回数	使用方法
			薬量	希釈水量		
移植水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ オモダカ セリ クログワイ コウキヤガラ シズイ キシウスズメノヒエ	移植後15日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで	1000m <sup>2</sup>	70～100 <sup>l</sup>	本剤：2回以内  シハロホップブチル ：3回以内  ベンタゾン ：2回以内	落水散布 又は ごく浅く 湛水して 散布
直播水稻	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ウリカワ ミスガヤツリ ヘラオモダカ	播種後10日～ ノビエ5葉期 但し、収穫50日前まで				乾田・落水 状態で雑草 茎葉散布

## 上手な使い方

- 展着剤は使用しないでください。
- 雑草の茎葉全体及び株元によく付着するように散布してください。
- 落水状態で散布時は3日、浅水処理では5日間、そのままの状態を保ってください。
- 散布適期を越えると効果が劣るので、時期を失ないように散布してください。



## 使用上の注意

- 散布液は使用当日に調製してください。
- 薬害のおそれがあるので、展着剤は加用しないでください。
- 移植水稻では、散布する前に落水状態にして水の出入りを止め、撒きむらのないように均一に散布してください。また水を落とすことができないところでは、漏水のない水田に限り、できるだけ浅水状態（雑草が水面上に出る状態）にして撒きむらのないように均一に散布してください。
- 散布後少なくとも3日間（浅水処理は5日間）はそのままの状態を保ち、入水、落水、かけ流しはしないでください。また散布後7日間は降雨の有無にかかわらず落水、かけ流しはしないでください。
- 処理後2日以内に降雨があると効果が不十分になるおそれがあるので、晴天の持続する時を選んで使用してください。
- 深水にすると効果が劣るので注意してください。

- 漏水田（減水深2cm/日以上）では葉害が発生するおそれがあるので、使用しないでください。
- 本剤は生育期に入った雑草に効果がありますが、雑草特に多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布してください。
  - ・ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカでは、発生盛期から増殖中期まで
  - ・オモダカでは、発生盛期（草丈5～15cm）まで
  - ・セリでは、増殖初期～盛期まで
  - ・クログワイでは、発生盛期（草丈10～20cm）まで
  - ・コウキヤガラでは、発生盛期まで
  - ・シズイでは、草丈5cm程度まで
  - ・本田内に再生するキシウスズメノヒエ防除では、再生茎3～6葉まで
  - ・畦畔より侵入するキシウスズメノヒエでは、畦畔からのほふく莖1m以内の株全体に
- オモダカ、クログワイ防除はオモダカ、クログワイに有効な前処理剤との組み合わせで使用してください。
- 葉害のおそれがあるので、重複散布をさけてください。
- 軟弱稲では葉害（接触害）のおそれがあるので使用はさけてください。
- 高温など葉害を生じやすい条件での使用は多めの希釈水量を用い、低濃度液をなるべく水稲にかからないように散布してください。
- 葉害を生じるおそれがあるので、周辺作物にかからないよう十分注意してください。
- 乾田直播水稲に使用する場合、以下の点に特に注意してください。
  - ・重複散布をさけてください。
  - ・軟弱徒長苗での使用はさけてください。
  - ・高温期または高温が予想されるときは使用をさけてください。
- 乾燥が続いた条件では除草効果が低下する場合がありますので注意してください。特に、乾田直播水稲に使用する場合は注意してください。
- 使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や、異常気象時は、病害虫防除所など関係機関の指導を受けてください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使い切ってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川などに流さないでください。また、空容器は環境に影響を与えないよう適切に処理してください。



### 安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので、眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。使用後は洗眼してください。
- かぶれやすい人は、取扱いに注意してください。

**水産動植物**…水産動植物（魚類）に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。

- ・散布後は河川、養殖池などに流入しないよう水管理に注意してください。

**保管**…直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。